

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1090200120		
法人名	特定非営利活動法人三山の家		
事業所名	グループホームみどりの		
所在地	群馬県高崎市井野町377-3		
自己評価作成日	令和5年5月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	令和5年5月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

清潔な環境整備を心がけ、入居者が快適に居心地良く安全に生活できる居住空間作りをしている。午前には軽体操、読み上げを午後には歌いながらの体操を実施を日課としている。穏やかな中にも毎日を楽しみながら認知症の進行の予防とADLの維持に努めている。毎月行うレクリエーションでは季節感のある絵、習字、工作、歌や読み上げ文の書き取りを行なっている。食事は食材の調達から調理まで全て職員が行い季節感を考慮した家庭的な料理を提供している。入居者様各々にケア担当者が付いており、ご家族と綿密に連絡をとっている。ご家族様のご協力も得て画一的なケアではなく個性を大切に、入居者様の意向に沿ったケアをしている。廃品回収の協力等地域との繋がりが大事にしている。認知症相談窓口としてあんしんセンターや市と連携して地域の認知症支援にも取り組んでいる。現在はコロナ感染予防の為、慰問は中止しているが、定期的の日舞や読み聞かせの教室を開催していた。近隣の中学生受け入れや保育園児の訪問等も行っていった。今後の再開を検討している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念を目指して実践する中で、生活の中で重要な部分を占める食事を楽しく充実したものにするため力を注いでいる。季節の食材や、利用者の好みなどを取り入れ、職員が工夫しながら調理し、利用者も食器拭きなどできることに参加して、職員も同席一緒に食事をしている。誕生日会には個々人の好みに特化した食べ物を提供するなど、食事を楽しめる支援に努めている。毎月の職員会議は、法人本部の代表者も出席し、利用者個々の介護支援のことや運営面について各自意見を出し合い、本部からの伝達や本部への要望などを通して連携を密にしている。毎年、各職員は所定の書式の自己評価を行い、本部の代表との考課面談が行われ、評価と共に、介護に対する職員の意識啓発・高揚の場としている。介護計画は、計画に沿った日々の介護及び記録と共に担当制による担当職員がモニタリングを行うなど一連の流れの中で、職員が積極的に関わり連携のもと、現状に沿った計画の作成、実践となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている ○ 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有できるよう、玄関、事務所やホールへ掲示し、パンフレットにも掲載している。入居者様、ご家族様への支援、地域へも意識できるような理念となっている。理念は共有し実践に繋げるよう努めている。	所定の書式による職員の自己評価項目にも理念のことがまず第一に盛り込まれており、意識づけのもとに、実践について日頃職員間で話し合い、理念の振り返りを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	廃品回収や広報の配付を頂いている。コロナ感染防止の為、値域の方々の慰問や中学生職業体験、保育園児の来園は中止しているが、今後は状況を鑑み再開を検討している。	コロナ禍、中学生の職場体験などの交流は一時中断しているが、掃除や廃品回収協力などを通じての地域とのかかわり、近所の方々との日頃のあいさつなど、地域とのつきあいを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご家族様や近隣の方々には認知症の理解をいただけるよう、相談やアドバイスをを行っている。ご家族様や近隣の方々に、認知症で自宅での生活が困難な方等の入居の相談等も随時行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナの為運営推進会議は中止していたが、適宜ご家族様と連絡をとり又、アンケート等によりご家族様のご意見を確認しながら、サービス向上に活かしている。	コロナ禍においては、対面形式での運営推進会議は一時中断しているが、事業所の様子などを分かりやすく書面にまとめ、構成員に郵送により報告している。次回から通常開催できるよう検討・準備している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常に疑問な事や不明な事があれば、市へ連絡し確認や相談をしている。事故が起きた際は、速やかに事故報告書を作成し市へ提出している。安心センターへは定期的にお伺いし、入居者様などの相談をしている。	市の担当者とは、手続きのことで分からないことを問い合わせるなどしている。事業所のパンフレットを、置かせてもらっている。また、あんしんセンターと連携を密にして、事業所の空き情報や地域の情報を共有し、運営に活かしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は基本的に行っていない。利用者様が入りをする際は、職員が見守り対応をしている。身体拘束廃止委員会を作り、定期的に勉強会をし、身体拘束廃止に向けた協議を行っている。	利用者の外出願望には、職員連携による見守りにより安全を確保しながら応え、玄関の施錠無しの状態を維持している。身体拘束廃止委員会を定期的に関き、身体拘束に関する基本的なことや、利用者の個別の状況について話し合い、身体拘束をしないケアに向けた取り組みをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に勉強会を行い、不適切なケアや言葉使い、態度等に関して職員間同士で気付いたことを話し合い、振り返りながら虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修や勉強会により権利擁護に関する知識を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に契約の締結、解約、改定についての説明文を記載し、契約時やご家族の不安や疑問点に対しても十分説明し、理解納得して頂いた上で署名、捺印して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回アンケートの実施や、運営推進会議や面会時にご家族からの意見や要望をうかがっている。玄関の所には投書箱を置き、それから運営に反映している。当施設県、市町村の苦情受付窓口も施設内提示している。	利用者には、日々の中で聞き取り、誕生日会には、好きなものを提供するなどしている。家族には、運営推進会議の書面報告のほか、担当する職員が利用者の個々の状況を書面にまとめ、写真を添えて毎月郵送し、情報共有している。また、年に1回アンケート調査を実施し、家族の要望の把握に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議で運営や業務改善など意見交換し、運営の向上を心かけている。また、理事長が日常的に施設に来て意見や提案を聞く機会を設けてくれている。	毎月1回定期的に、法人本部の代表の出席のもと開催し、介護についての改善事項の協議、本部からの伝達や本部への要望などが、話し合われている。各職員は、所定の様式による自己評価を提出し、代表が考課面談を行い、評価と共に職員の意識啓発・高揚の場としている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に改善手当や資格手当を支給している。外部研修や、資格取得に向け、研修や受講代を援助している。適時面接をし、各自が向上心ややりがいを持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な外部研修の参加を奨励し職場のスキルアップに努めている。また、職員会議の際の勉強会の資料として独自のマニュアルも作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業社との交流の中で情報交換し職場のサービス向上に努めている。法人でも他部署で職員交換研修を行い法人全体のサービスの質向上にも取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今までの生活歴を理解し、本人の困っている事、不安、要望を傾聴し、安心して生活できるための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困っている事、不安、要望を傾聴、共感しアドバイスを交えながらご家族に安心と信頼を得られるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族と十分に話し合い「その時」まず必要としている支援を見極め行っている。福祉用具の相談にも行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自分達より人生経験豊富な人生の先輩である事を職員は常に念頭におき、お手伝いなどをして頂きながら共に暮らしを支え合う関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には施設での様子を細かく伝え、外出後には様子を伺う。ご家族と情報を共有しながらご本人を支えていく関係性を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人からの電話を取り次いだり、訪ねて来た時にはゆっくり話せる環境を作っている。希望があれば連絡を取り大切な人との関係が途切れないよう支援に努めている。	昔からの友人と関係が継続できるように、面会時にはゆっくり話せる環境づくりに努め、コロナ禍を含め、面会ができない場合には、電話等での取次ぎを行う支援をしている。また、家族の協力により墓参りや受診時に馴染みの店に立ち寄るなどしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係を把握しテーブル席や外出時の配車は気が合う人と同席できるよう配慮している。また、体操やレクリエーションを通して、孤立せず楽しめる支援をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も知り合いのケアマネに様子を伺ったり、御家族から連絡が来た時には相談にのり、できるだけ支援出来るよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、本人とコミュニケーションを取り、少しの変化を言動や行動から思いや希望を感じ把握している。困難な時でも表情や行動、ご家族からの情報で思い汲み取り何が1番なのかを常に検討している。	一人ひとりの生活歴を把握し、日々の生活をする中で、本人、時には家族から意向を聞いている。誕生日会には、本人の好きな物を提供している。難しい場合は、本人の言動などをもとに職員で話し合い、意向に沿えるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や御家族からの情報収集の把握に努めこれまでの生活歴も把握しホームでの生活に生かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録やバイタル表申し送り等でその人その人の状態把握に努めている。できない事よりもできる事に焦点を当てケアに努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3カ月毎にモニタリングを行いご本人にとって1番良いケアは何かをカンファレンスにて意見やアイデアを出しご本人やご家族にも意見を聞きながら計画を作成している。心身に変化があった時は適時カンファレンスを行い計画を変更している。ケース記録には計画に沿った記録している。毎月のカンファレンスでは現状確認を行っている。	職員は、介護計画の生活目標や援助内容に沿った日々の介護、記録を行うと共に、担当制による担当職員がモニタリングを行い、サービス担当者会議で話し合うなど、一連の流れが職員共有のもと行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご本人の言動や行動を細かく記入したケース記録や申し送りなどで職員間で情報を共有しケアの実践や結果などの把握に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問診療、訪問歯科、訪問美容、マッサージ等の導入や写真やお便りで様子をお知らせしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍において近年は地域や近隣の方との交流が出来ていなかったが区長さんあんしんセンターに時々挨拶に出向き地域の情報を入手し安心、安全な生活が送れるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療を行っている。24時間対応受けられる。ご本人やご家族に受診先を決めて頂き、受診はご家族が対応するが要望あれば職員が対応している。ご家族受診の時は相談内容を伝え結果報告を受けている。	月2回、訪問診療を受けており、医院の看護師には24時間対応してもらっている。精神科など専門医に受診する場合は、基本的には家族が対応し、必要に応じ、職員が対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中での気づきなど些細なことでも電話連絡で情報伝達し対応方法の指示を受けている。早めの対応で重症化予防に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のカンファレンスにご家族と一緒に参加させて頂き現状を把握したり、今後について相談員と話し合い、ご本人にとって1番良い方向になるよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族の考えや要望を聞いた上でホームでどこまで支援出来るかを説明している。必要なら訪問診療の医師から説明する時もある。	契約時に家族の意向や要望を聞き、事業所で支援できることなどについて説明している。状態変化に伴い、その都度医師と相談し、家族の意向や要望を確認、事業所での支援内容を検討して対応している。	重度化した場合や終末期のあり方についての事業所の方針が、家族にとっても、職員にとっても、より分かりやすいものとなるよう、検討を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	主治医や看護師より急変の際への対処方法を事前に確認し全職員に周知している。連絡方法や応急処置の方法もわかりやすい所に貼ってある。又、カンファレンス時に随時確認している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練を実施。コロナ禍で近年は消防立会訓練実施していない。昼間夜間と想定内容変更し行っている。避難場所等も確認出来るよう事務所に貼ってある。	立地状況から水害対策の必要度は比較的少なく、火災対策を主に行っている。年2回、うち1回は夜間想定も取り入れ、一連の訓練を行っている。コロナ禍、消防署の立ち会いはなく、自主訓練となっている。災害時の近所の方の協力体制がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の人格と尊厳を大切にし本人の自尊心やプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めており、個人情報に配慮し、ケース記録や会議録、申し送りノート、薬剤保管、ケース等にはイニシャルを使用している。	一人ひとりの人格や尊厳を大切にすることを念頭に置き、利用者の言動について、その背景や理由、その人の特性など、職員間で話し合い、適切な言葉かけや対応ができるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を伝えやすい環境作りに努め、日常生活の中で言動や行動から思いを察し、自由に自己決定できる言葉かけや助言をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホワイトボードにその日の予定を記入しているが入居者様の生活ペースを最優先し、本人がその日一日を自分らしく過ごせるよう希望に沿った支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時には、一緒に服を選んで浴後や洗顔後には、化粧水や乳液整髪料等つけて頂き、身だしなみやおしゃれが楽しめるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が同席し、一緒に食事をし個々の好みを把握し、美味しく食事が摂れるよう配慮している。又、季節を感じられるイベント食を提供し、誕生日会は本人の食べたい料理を提供している。食器の片付け等は無理のないお手伝いをして頂いている。	季節の食材や、利用者の好みなどを取り入れ、調理を職員が行い、職員も同席して、一緒に食事をしている。特に誕生日会には本人の好きなものを提供したり、料理が得意な職員には、その能力が発揮できるようにしたりしている。利用者が食器の片付けなどできることに参加してもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューや食事摂取量を業務日誌に記入。バランスのとれた食事提供をしている。身体状態に配慮し食形態で提供している。水分摂取にも夏場はジュースで作ったゼリー、通年麦茶を用意して飲んで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声かけ、見守り、介助を行っている。夜間には、義歯の洗浄を行い口腔内の清潔保持に努めている。食事の様子から個々の状態を把握し、必要に応じて訪問歯科に依頼している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者様個々の日常の排泄行動から排泄パターンや介助のタイミングを見極めて、援助している。歩行が困難な入居者様には夜間ポータブルトイレを設置し夜間でもトイレでの排泄が出来るよう努めている。	利用者の自立度に応じた支援を行い、トイレ誘導が必要な利用者には、排泄パターンを把握したり、しぐさなどから、適時声掛け誘導し、トイレで排泄できるよう支援している。夜間、尿量が多い方にはポータブルトイレを用意して、排泄の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日午前午後と種類の異なる体操を行い、食事には食物繊維の多い食材を多く取り入れたり、ヨーグルトを提供し便秘の予防を心がけている。水分摂取にも気を配り個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的には一日おきの入浴である。体調の都合で入浴できない場合は全身清拭したり足浴を行う。入浴がお休みの時もホットタオルを提供し顔や手を拭きさっぱりして頂けるよう努めている。	基本的には、週3回、午後2時ごろから順番に交代で入浴できるようにしている。温度や入浴時間など、利用者の希望に沿った対応をしている。体調で入浴できない時や嫌がる時などは、時間を変更している。入浴剤を取り入れるなど、入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は各々違うので個々の意思を尊重している。週に3回は布団を干し寝具やパジャマ洗濯し心地良く休んで頂けるよう努めている。不眠時は室温や掛け物等を調整し努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のケースを用意しその事には最新の薬剤情報提供書を入れておき薬のセット時必ず確認し誤薬がないよう注意している。服薬時には飲み込み確認し飲み残さないよう注意する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のコミュニケーションの中から生活歴や好きな事、得意な事も探り出し本人の力を生かした役割を持って頂いたり楽しみごとをする事で気分転換につながるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の希望により外出したり初詣やお花見バーベキュー等季節感のある外出レクを行っているご家族様のご協力を得ながら支援している。本年度はコロナ禍の影響で外出は中止している。	コロナ禍においては、外気浴や近所を散歩したり、時には、おにぎりや卵焼きの弁当を持って屋外で食べたりしている。また、ドライブで、景色を眺めたり、人込みを避けて花見をしたりして、外出に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在はほとんど、ご家族に管理して頂いている。何か欲しい時は、ご家族に連絡させて頂き、持って来て頂くか、了解を得る。ホームで購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望がある時は、様子を見て電話のやり取りが出来る様対応している。手紙やハガキ、切手などの要望があれば対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様に快適に気持ち良く過ごして頂ける様に清潔に気を付け、換気気温調節、光の射しこむ状態やホール窓が外からも内からもいつも綺麗になっているように気を付け、入居者様が気持ちよく過ごして頂ける様にしている。	利用者が快適に過ごせるよう、掃除等を徹底して清潔な状態が保てるよう気をつけ、換気や温度管理などを行っている。また、七夕飾りなど、季節に応じた飾りつけを行い、季節を感じられるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	同じテーブルの方々と楽しくおしゃべりされたり、新聞を読まれたり、工作なども楽しまれている。ソファで気の合った入居者様同士でDVDやTVを見られたり楽しそうに、話をされたりしている。職員も時々話の輪に入り、お互いに笑い楽しんでいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が使いなれた物使って頂いている。自宅に近い環境の中で生活が出来るように努めている。誕生日の寄せ書きや自分で塗ったカレンダー(月ごと)などや思い出の品も自由に飾って頂いている。	自宅での生活に近い環境で生活できるように、例えば、時代劇ドラマが好きな利用者は居室でも見られるようにテレビやDVDを持ち込んで楽しんでいるように、使い慣れた物が置かれ、また、塗り絵などの本人の作品などが飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はバリアフリーになっており、重要な所には手すりが付いている。安全に行動できるよう配慮している。車椅子で楽には入れるようトイレもあり、廊下も広くすれちがうのも楽になっている。入居者様がわかる様にホールにホワイトボードがあり日付と予定が書いてある。工作や絵、季節、各行事の写事も提示し入居者様がそれを見て楽しめたりと居心地よく過ごせる様に努めている。		